

ウズベキスタンベッド100台寄贈 募金協力をお願い

ウズベキスタン共和国の病院及び看護教育現場の環境の整備・改善のために、アルメイダ病院から無償提供していただいたベッドの寄贈を計画しています。しかしながら、ベッドの輸送費等には約500万円が必要です。皆様のご協力をよろしくお願いします。

大分県立看護科学大学では、2004年7月からウズベキスタンにおいてJICA（独立行政法人 国際協力機構）の「看護教育改善プロジェクト」を進めてまいりました。

このプロジェクトでは、「患者さんと向き合った看護を提供することができる看護職を育成する」ことを目標にして、カリキュラムの改善、教員の資質の向上、教材等の整備を行っております。看護教育の全分野のカリキュラムの改善や、教員の資質の向上のためのガイドラインの作成、研修などは順調に進んでおります。

一方、看護教育では、学内で行う演習や臨床現場で行う実習が大変重要な役割を果たすのですが、学校や病院の教育環境、とくに演習や実習のためのベッドなどの機材が不足しているのが現状で、教育現場の環境の整備・改善が今後の大きな課題となっております。



提供していただいたベッド



ウズベキスタンの授業風景

演習などに使われているベッドなどは、安全性に大きな問題があるパイプベッドで日本の教育施設や医療施設などでは決して見かけることのない代物です。

そこで、日本の医療機関等で不要になったベッドがあったらウズベキスタンに送り、再利用できればと考えていた折に、新アルメイダ病院の開院に伴い不要になったベッド100台を寄贈していただけることになりました。

ベッドは、ウズベキスタンの看護教育の現場（学校や医療機関など）で気持ちよく使っていただくために、アルメイダ病院の看護師のみなさん、看護学校の学生さん、本学の教職員などがきれいに磨き上げ、現在、保管してあります。

最近のニュースとして、日本のODAの拠出金が減少したことが報道されておりましたが、日本では不要とされたものを、開発途上国に送り、再利用していただくということも国際協力の一つであると考えております。

100台のベッドをウズベキスタンに届けるためには輸送費として約500万円を用意しなければなりません。9月から新しいカリキュラムに沿った本格的な実習が始まりますので、それまでにベッドを届けたいと考えており、輸送費に関しては、県民のみなさまの善意をお願いする方法をとらせていただくことにいたしました。

銀行振込での募金

募金振込先 : 大分銀行 わさだ支店
店番 : 058
口座番号 : 普通 5275095
振込先名義人 : ウズベッド100

※ 募金を振込まれる場合は、別途、振込手数料が必要となりますのでご了承ください。

領収書の必要な方

募金申込書に、必要事項を記入して、下記までファックスで送付してください。入金確認の後、領収書を発行させていただきます。

※ この募金には税制上の優遇措置はありません。

「ウズベキスタン共和国ベッド100台寄贈」実行委員会 (連絡先)

大分県立看護科学大学

看護研究交流センター長
教授
准教授

甲斐倫明
桜井礼子
藤内美保

大分県大分市廻栖野2944-9

電話番号 : 097-586-4300

FAX番号 : 097-586-4370